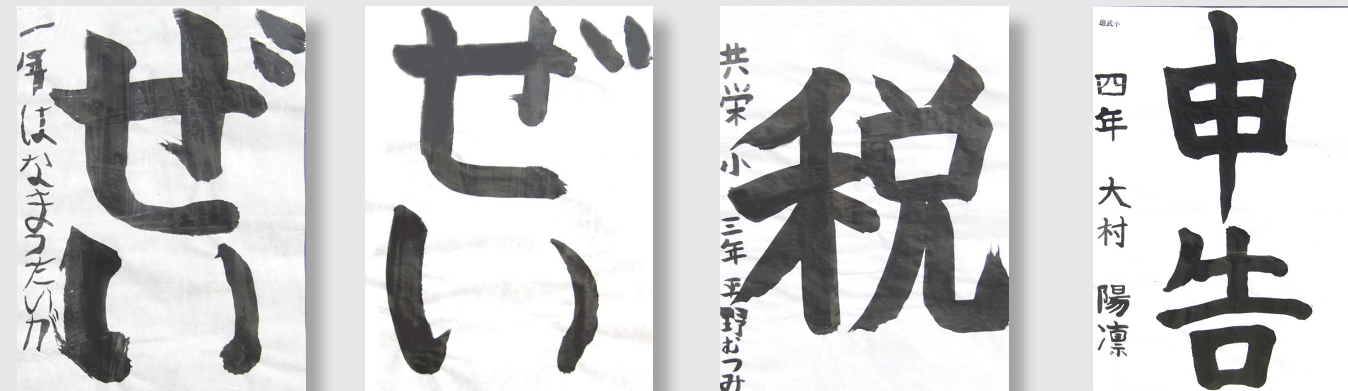


小・中学生の税に関する書道コンクール

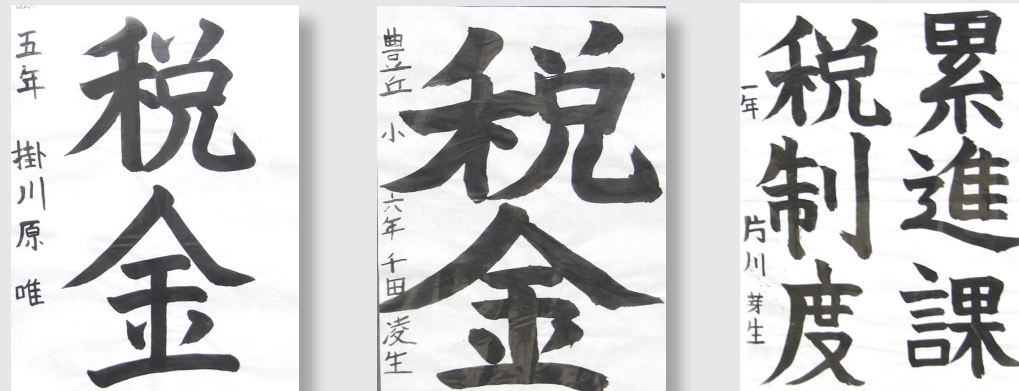
入賞者決定

次代を担う小、中学生に正しい税の知識と広く税に対する理解や関心を高めるため、昨年度に引き続き「書道コンクール」を実施した結果、次の人たちが入賞されましたのでお知らせします。
 なお、入賞作品は、3月9日(金)まで町民センターロビーに展示しています。

最優秀賞



●小学1年生の部 花松 泰河 (豊丘) ●小学2年生の部 加賀 椿姫 (沢木)
 ●小学3年生の部 平野 夢月弥 (共栄) ●小学4年生の部 大村 陽凜 (雄武)



●小学5年生の部 掛川原 唯 (雄武) ●小学6年生の部 千田 凌生 (豊丘)
 ●中学1年生の部 片川 芽生

優秀賞

- 小学1年生の部 池田 唯留 (豊丘)
- 2年生の部 小野 稜馬 (沢木)
- 3年生の部 林 心結 (雄武)
- 4年生の部 藤島 凪沙 (沢木)
- 5年生の部 花松 明奈 (豊丘)
- 6年生の部 畔川 詩凜 (雄武)
- 中学1年生の部 工藤 風稀

奨励賞

- 小学1年生の部 竹田 伊織 (沢木) 直井 六花 (沢木)
- 2年生の部 小野 愛翔 (沢木)
- 3年生の部 池田 藍瑠 (豊丘) 藤島 有那 (沢木)
- 4年生の部 間島 星来 (豊丘) 高宮 凜子 (雄武)
- 5年生の部 中村 のあ (共栄) 大水 皓生 (雄武)
- 6年生の部 和田 沙羅 (雄武) 小林 大也 (雄武)
- 中学1年生の部 吉澤 千夏 野口 万里

問雄武町教育委員会
 問雄武町租税教育推進懇話会

遠隔授業とは

地域キャンパス校（雄武高校）とセンター校（紋別高校）には、双方向通信が可能な「遠隔システム」が整備されます。その「遠隔システム」を使用し、授業を実施します。
 その他にも、生徒や職員の交流や会議等にも活用できる機能を有しており、センター校のほか、本システムが整備されている全ての高校と通信が可能です。現在、道内の地域キャンパス校とセンター校では、遠隔授業はもとより、進学・就職の講習や生徒会の交流、各種の講演会など、様々な取組みに活用されています。



↑ 遠隔授業の様子

教員配置数

地域キャンパス校とセンター校の連携した教育活動については、「実施要綱」に定められており、両校の距離が50km未満の場合は、地域キャンパス校の教員1名をセンター校に配置し、センター校から教員を派遣する出張授業を行うこととなっています。
 道教委では、今年度末にこの「実施要綱」を改正することとしており、出張授業については、距離にかかわらず両校間の協議により、行わないことも可能となります。この場合、雄武高校の教員配置数は、現在と同じになります。平成30年度からの紋別高校との連携した教育活動については、出張授業は行わず、遠隔システムの活用や生徒および職員の交流などが中心となる予定となっています。

現在		来年度予定	
校長	1	校長	1
教頭	1	教頭	1
教諭	9	教諭	9
養護教諭	1	養護教諭	1
計	12	計	12

※出張授業を行わないため
 教員数に変化はない予定。

町の支援について

遠距離通学生徒通学費等補助

町外から通学する生徒の保護者および町外からの通学が困難なため雄武町内の下宿等から通学する生徒の保護者に対し、通学費および下宿費等の補助があります。

- 定期路線バスを利用して通学する人 定期路線バスの通学定期額 ※100円未満の端数は切り捨て
- 自家用車を利用して通学する人 定期路線バスを利用して通学した場合の通学定期額
※100円未満の端数は切り捨て
 ※通学としてのみ自家用車を利用する者とし、同一世帯に複数の生徒がいる場合は1名分に限りま。
- 下宿等から通学する人 下宿等代のおおむね4割

生徒資格取得支援助成

奨励している検定試験または資格取得試験の合格者に対し、受験費用の助成があります。検定試験または資格取得試験の受験料もしくは手数料とし、助成金額は、助成対象経費全額となります。

入学生徒支援助成

入学する生徒の入学時（編入等含む）に、指定する制服購入費用の一部助成があります。

- 制服購入代金3万円以上の場合 1人につき3万円助成
- 制服購入代金3万円未満の場合 1人につき全額助成

部活動関係振興事業補助

部活動加入者に対し、管内大会宿泊費、全道大会経費に対する補助があります。

- 管内大会宿泊費補助 1泊5千円（3泊まで）
- 全道大会経費 総額の3分の2
- 遠征 町の所有する生涯学習バスが利用できます。

生徒見学旅行参加助成

見学旅行参加時における費用の一部助成があります。1人につき3万円助成